



2007年3月期 決算説明会

2007年5月31日
ディービーエックス株式会社
(証券コード:3079 JASDAQ)

I 会社概要

p.2

II 決算(実績と予想)

p.14

III トピックス

p.21

I 会社概要

II 決算(実績と予想)

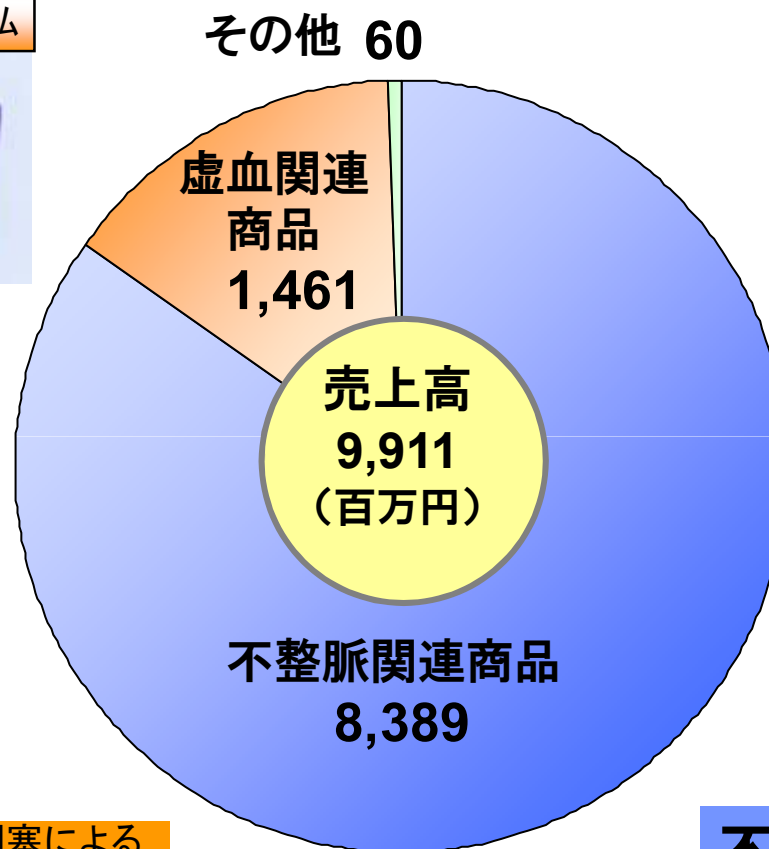
III トピックス

会社プロフィール

- 社 名 ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)
- 代 表 者 代表取締役社長 若林 誠
- 設 立 1986年4月1日
- 資 本 金 118,675,000円 (2007年3月末現在)
- 業 績 (非連結、2007年3月期)
 - 売 上 高 9,911百万円
 - 経 常 利 益 364百万円
 - 当期純利益 193百万円
- 事業内容 医科向け治療機器・診断機器などの販売
循環器領域を中心に事業活動を展開
心臓ペースメーカー、電極カテーテル、
新医療デバイス製品など

主要商品と売上構成(07/3期)

主力は不整脈関連 虚血関連の新医療デバイスも展開



虚血: 血管の狭窄または閉塞による
血流の不足・途絶

心筋梗塞・狭心症

.....心臓の冠動脈が原因

脳梗塞脳の血管が原因

不整脈: 心臓のリズムが乱れる疾病

徐脈.....脈が遅くなる

頻脈.....脈が速くなる

期外性収縮...脈が飛ぶ

不整脈関連商品の販売とフォローアップ

心臓ペースメーカーの販売とフォローアップを目的に創業



心臓ペースメーカー ⇒ **徐脈を治療**する機器

- 心臓の拍動が低下すると心臓の代わりに刺激を発生させる。
- 絶えず心臓を監視して“作動”と“待機”を繰り返す



創業当時の「心臓ペースメーカー」治療の状況を一変

- ペースメーカー患者の定期外来の定着化
- 機器作動プログラムの調整・最適化
- 機器の変化や設定変更後の柔軟な対応



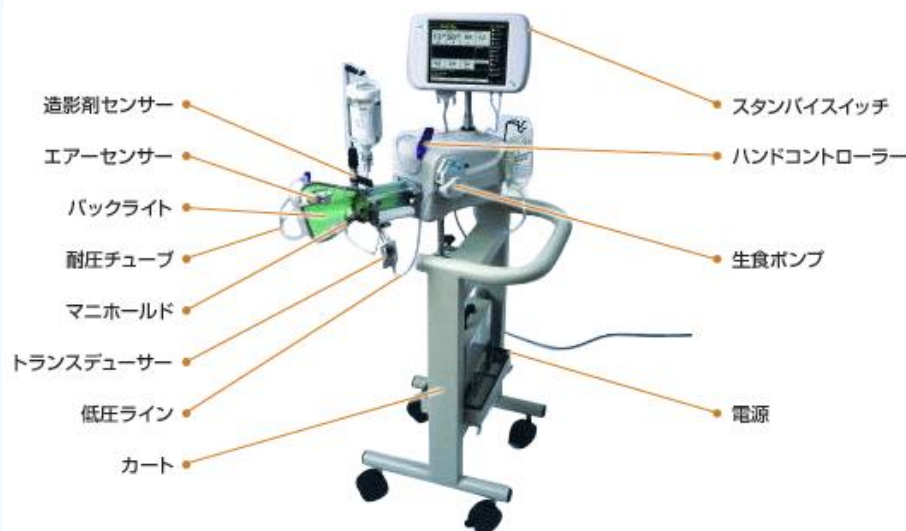
医師との強固な信頼関係⇒当社事業の基盤を構築



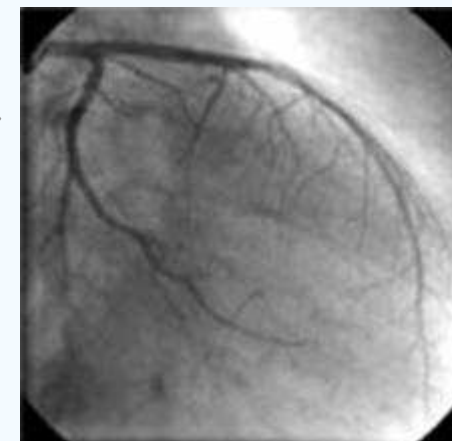
虚血関連のコア商品：自動造影剤注入装置「ACIST」

医療現場のニーズに応える“DVx”のソリューション

循環器用に特化した血管造影(アンギオ)用インジェクタ「ACIST」



心臓血管の
イメージ図



1. より正確な診断

心臓左室と冠動脈の
両部位に使用可能

2. 手技時間短縮

特殊ハンドコントローラにより
微妙な吐出制御が可能

3. 造影剤使用量削減

造影剤と生理的食塩水の
自動切替が可能

患者負担の軽減

「ACIST」のビジネスモデル

「本体需要」+ 稼働本体数・稼働率に比例した「消耗品の需要」

冠動脈造影検査で使用する“専用のアンギオキット”



導入施設増加
⇒ 本体新規需要

本体稼働率の上昇
⇒ キット需要の増加

本体稼働台数の増加
⇒ キット需要の増加

自社商品の展開

電極カテーテルに加えて、虚血分野の治療機器を投入



(出所)いずれも当社ホームページ

戦略商品「エキシマレーザ血管形成システム」CVX-300

エキシマレーザを利用した“新医療デバイス製品”

対象市場:「冠動脈形成術」「末梢血管形成術」「ペーシングリード抜去術」

1. 本体外観



2. 使用カテーテル



2-2. Turbo Booster

Guidewire

Laser Catheter

Distal Marker

Orientation Band

Turbo Booster

X線不透過ライン

ガイドワイヤルumen

光ファイバ

特徴1. 蒸散効果によるプラークの蒸散、除去が可能

・周辺組織の熱変性が少なく、合併症の発生を抑制

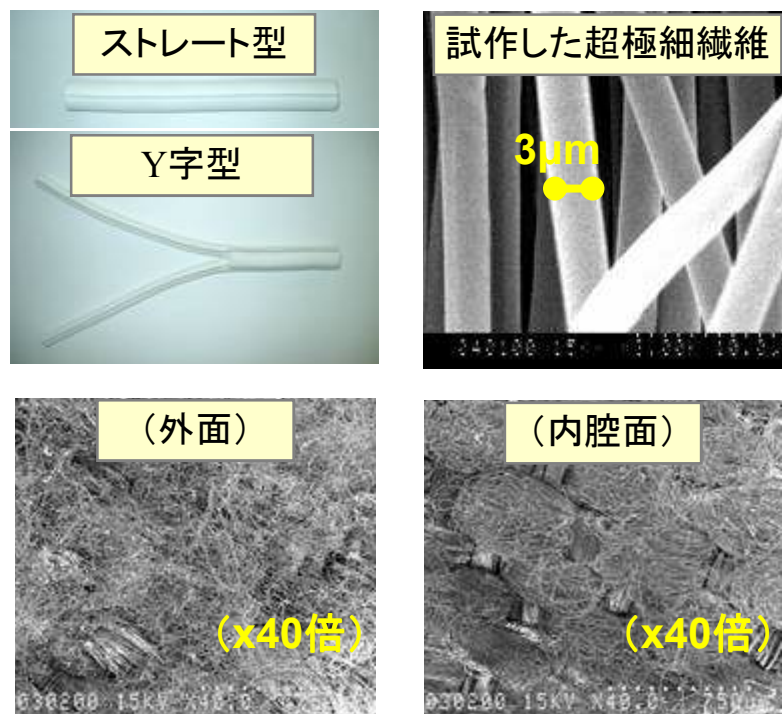
特徴2. 虚血分野の血管外科領域での治療も対応可能

当社の研究開発：人工血管の製造

人工血管の製造⇒外科領域(虚血)への進出、“物作り”への挑戦

超極細繊維を用いた人工血管、過去に製造された製品と同品質の再現を目指す

本開発において試作した人工血管

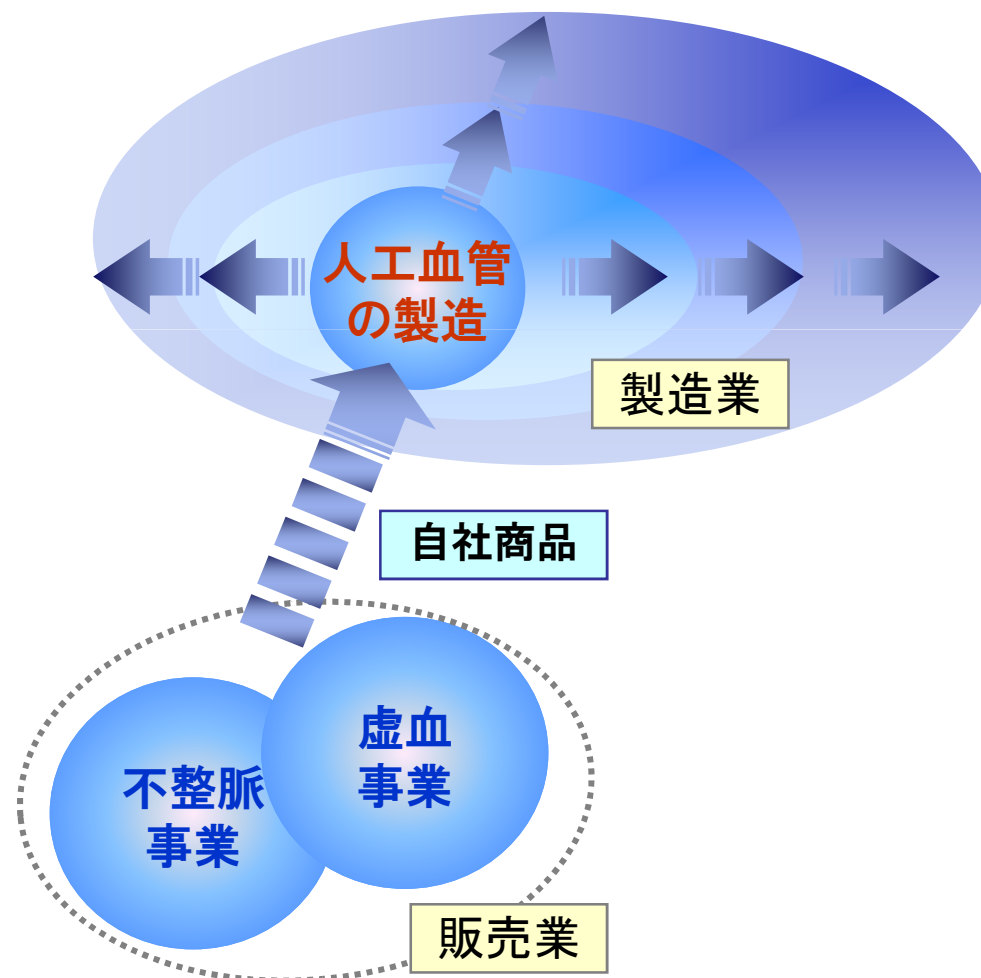


特徴①：人体との親和性の高さ

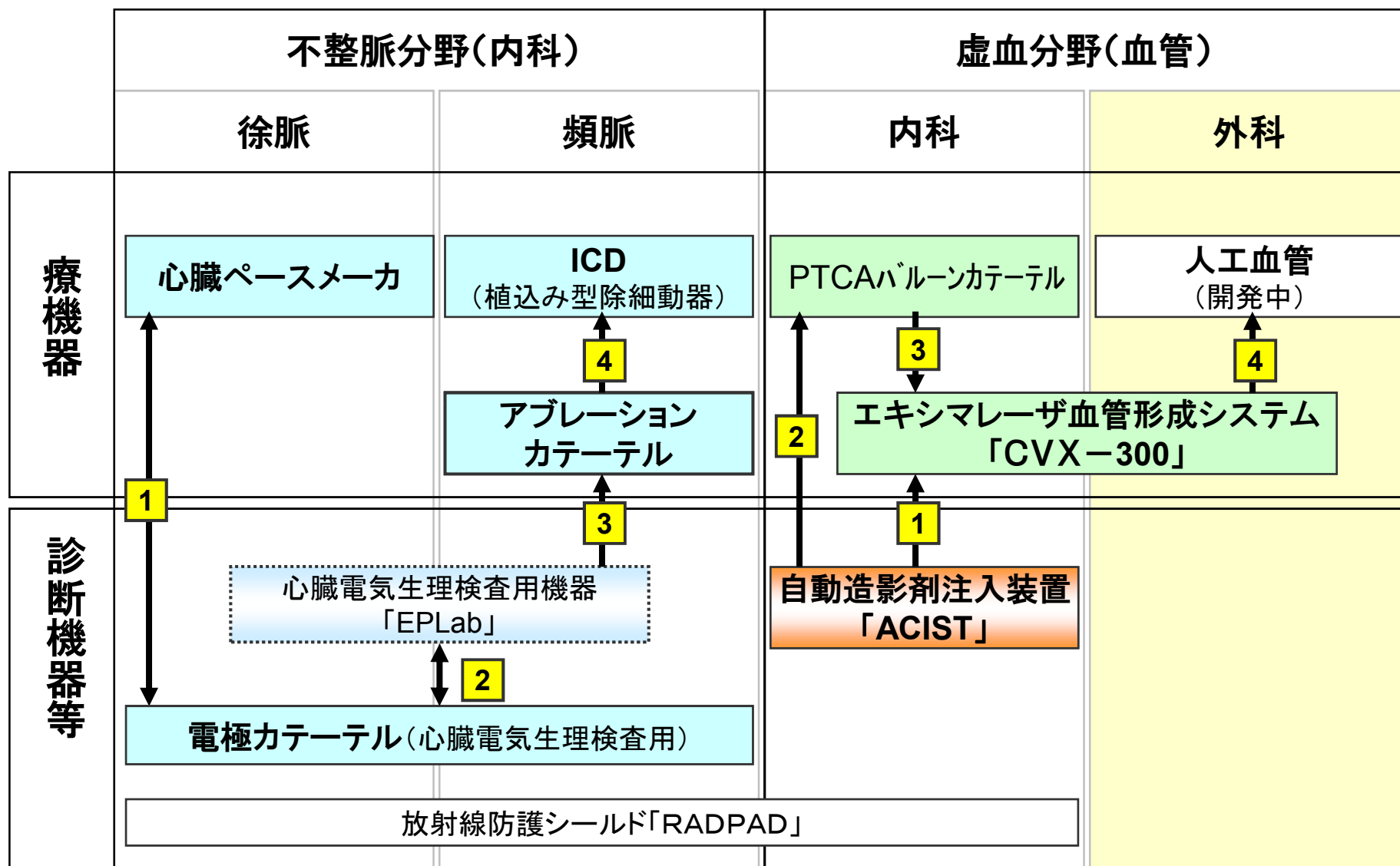
特徴②：低漏血性

特徴③：柔軟性

“物作り”への挑戦(製造業への進出)



拡張を続ける当社の事業領域・商品ラインナップ

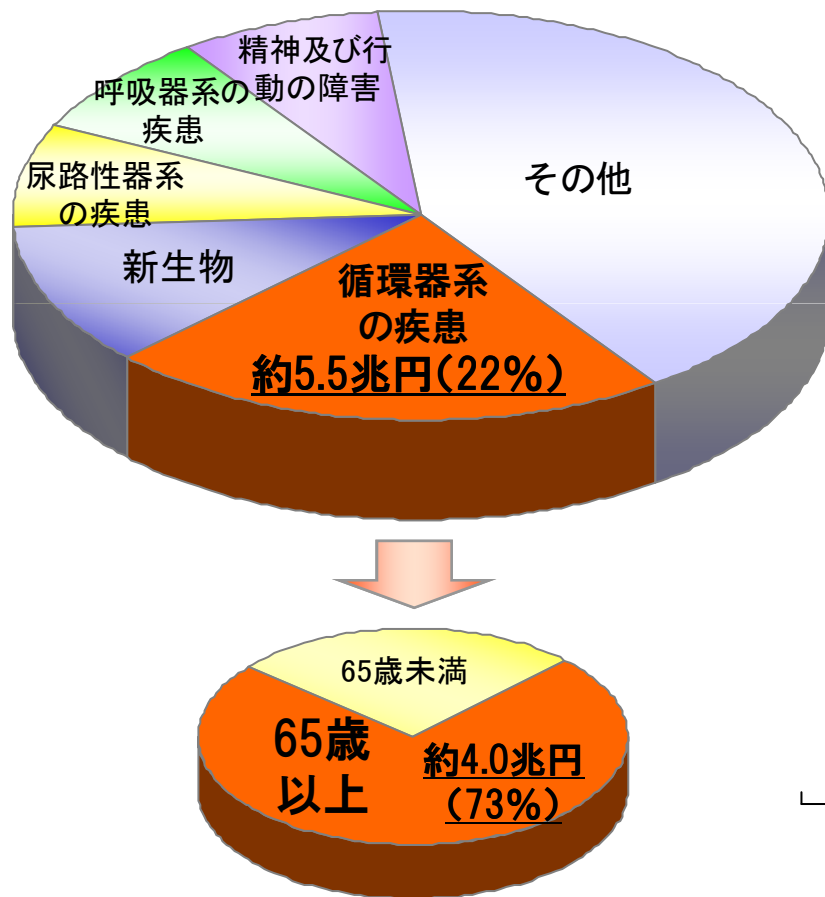


循環器専門であることの意義・循環器分野の市場

65歳以上の人口は今後も増加、循環器分野は成長市場

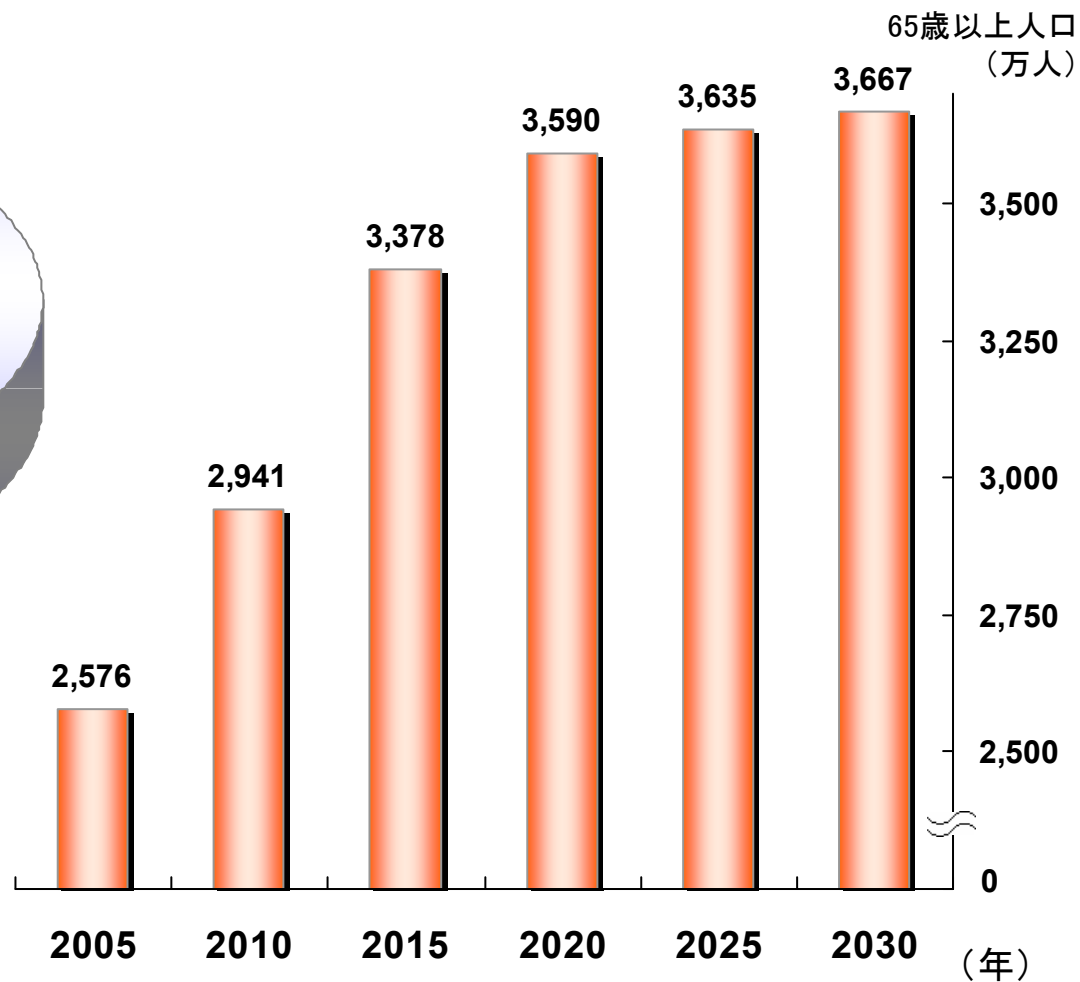
国民医療費(推計)における 循環器疾患の位置付け

総医療費: 約24兆円



資料: 厚生労働省「国民医療費の概況」(2004年度)

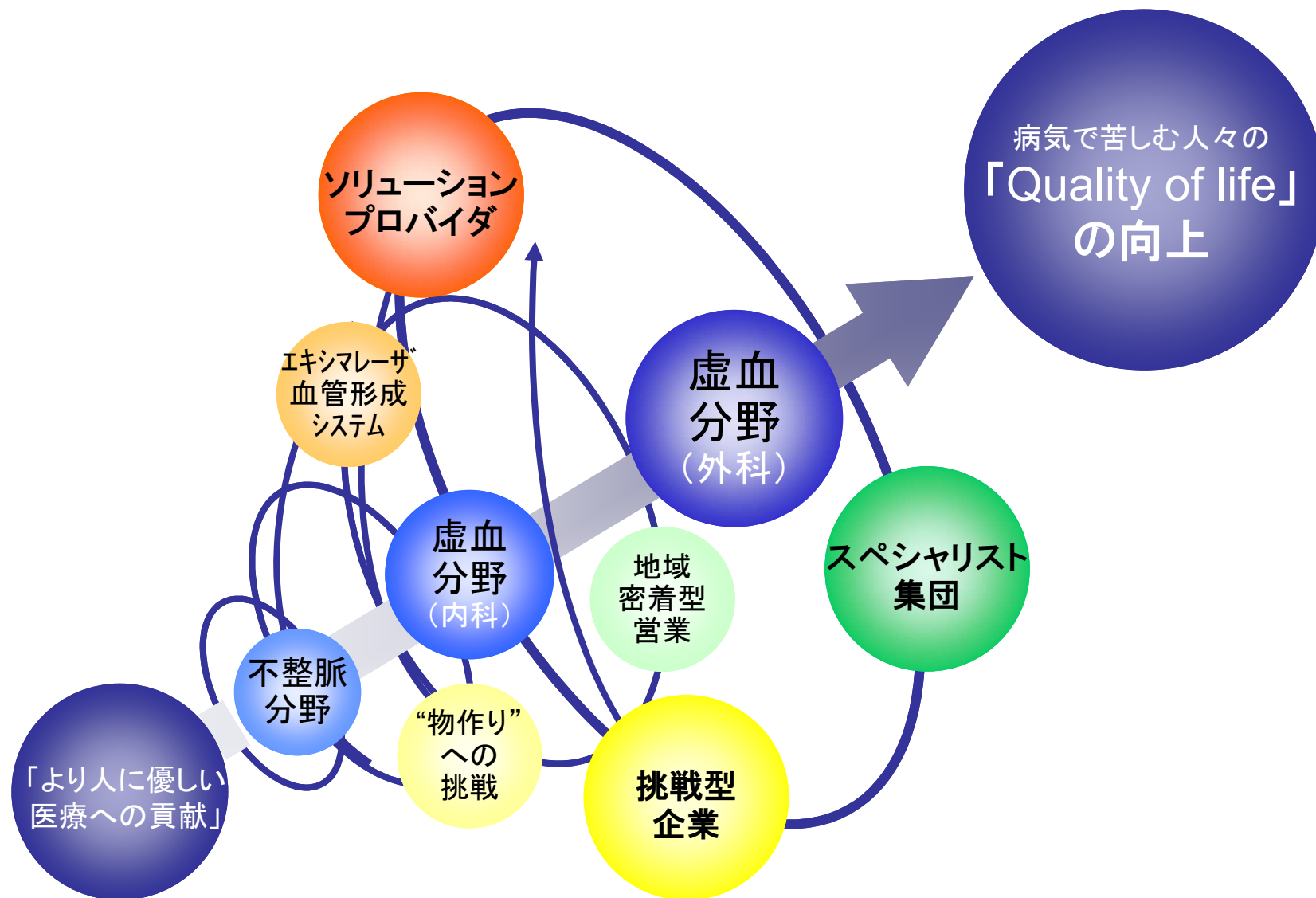
わが国における65歳以上の人口推計



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2006年12月推計)
出生中位(死亡中位)推計を使用。

循環器専門に発展を目指す“スペシャリスト集団”

医療現場に携わる企業としての使命を果たし、企業発展を実現



I 会社概要

II 決算(実績と予想)

III トピックス

07/3期 決算概況(全体損益)

(百万円、%)

	06/3通期		07/3通期	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	7,929	+13.0	9,911	+25.0
売上総利益	1,979	+14.7	2,240	+13.2
販売費および一般管理費	1,634	+15.6	1,875	+14.8
営業利益	345	+10.8	364	+5.5
経常利益	326	+3.9	364	+11.6
当期純利益	176	+7.4	193	+10.1

Point①: 売上高は前年比25.0%増加。06/3期を大きく上回る伸び率を記録。

Point②: 保険償還価格引き下げ等の影響を受けたが、
営業利益は前年比5.5%増加、経常利益は同11.6%増加

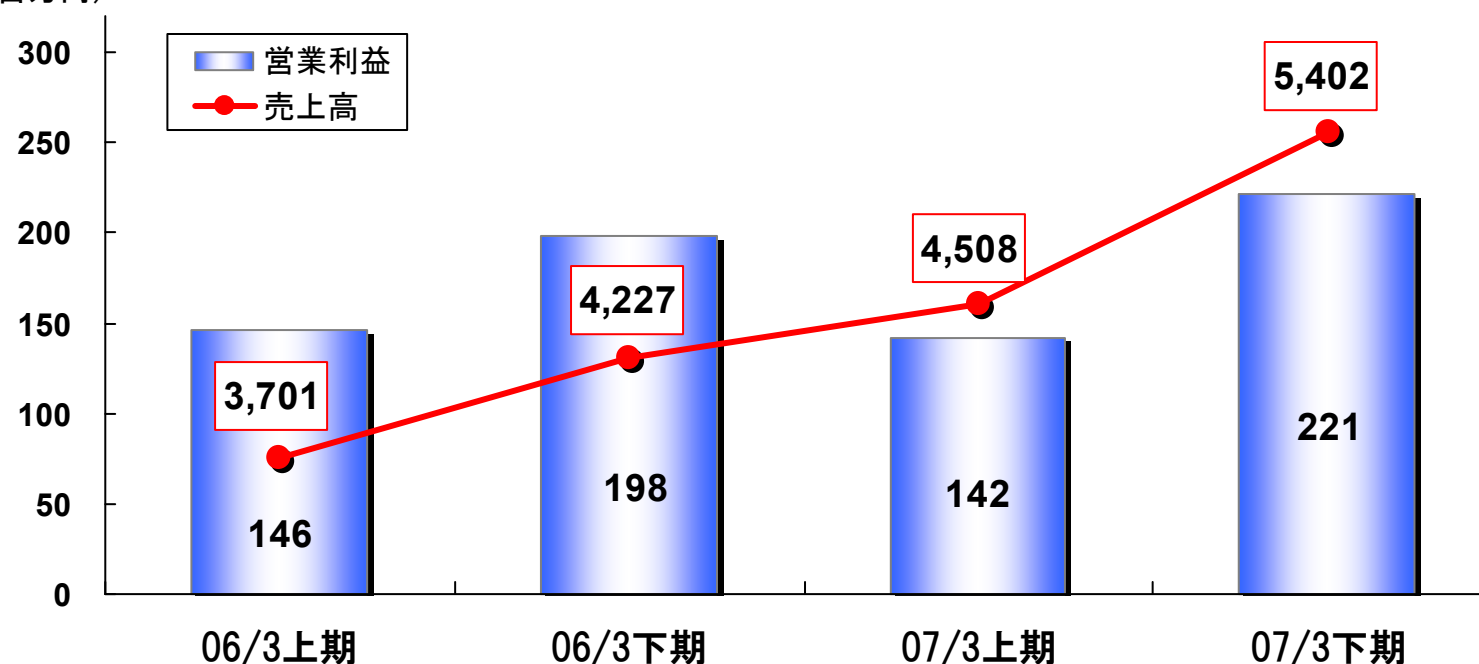
✓ 為替差損の減少等営業外損益の改善が、経常利益の増加に寄与

07/3期 決算概況(上期／下期別)

(百万円、%)

	07/3上期		07/3下期	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	4,508	+21.8	5,402	+27.8
営業利益	142	-2.6	221	+11.5

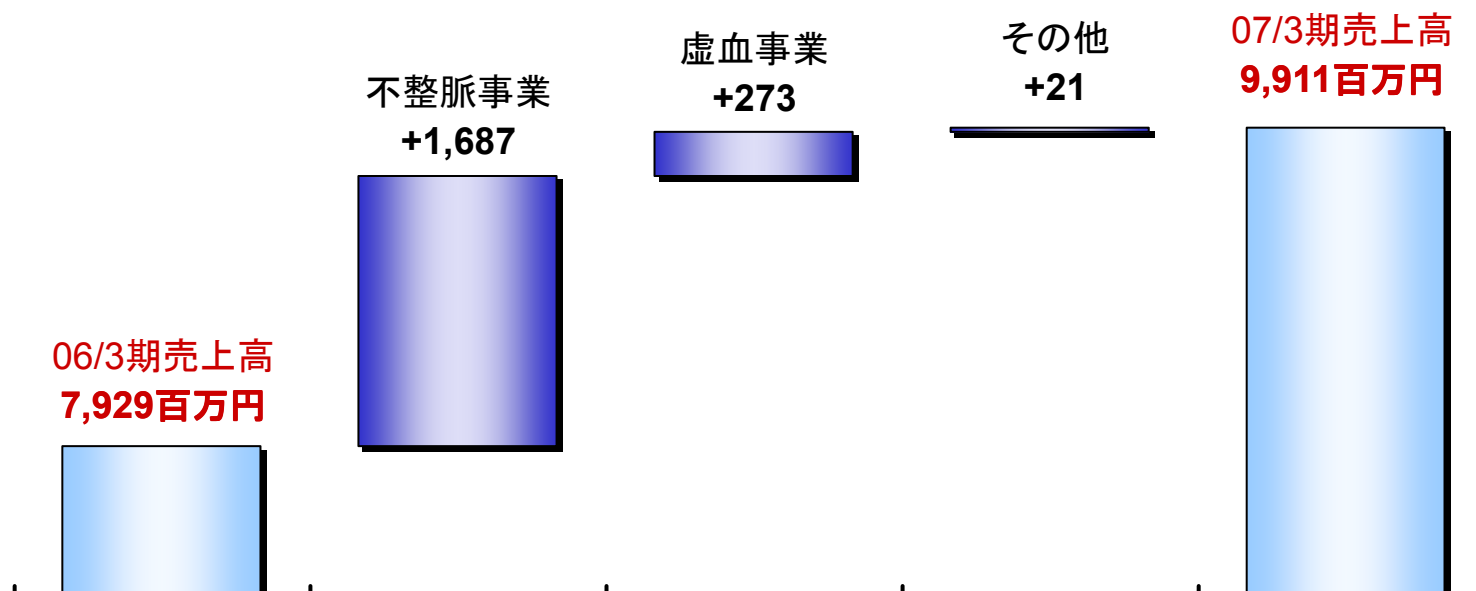
営業利益
(百万円)



07/3期 決算概況(事業区分別)

(百万円、%)

	06/3通期		07/3通期	
	金額	増減率	金額	増減率
不 整 脈 事 業	6,701	+11.0	8,389	+25.2
虚 血 事 業	1,187	+25.6	1,461	+23.0
そ の 他	39	+9.4	60	+53.2
合 計	7,929	+13.0	9,911	+25.0



08/3期 業績予想(全体損益)

(百万円、%)

	07/3通期(実績)		08/3通期(予想)	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	9,911	+25.0	11,460	+15.6
営業利益	364	+5.5	427	+17.3
経常利益	364	+11.6	420	+15.4
当期純利益	193	+10.1	228	+18.0

■業績予想(中間期)

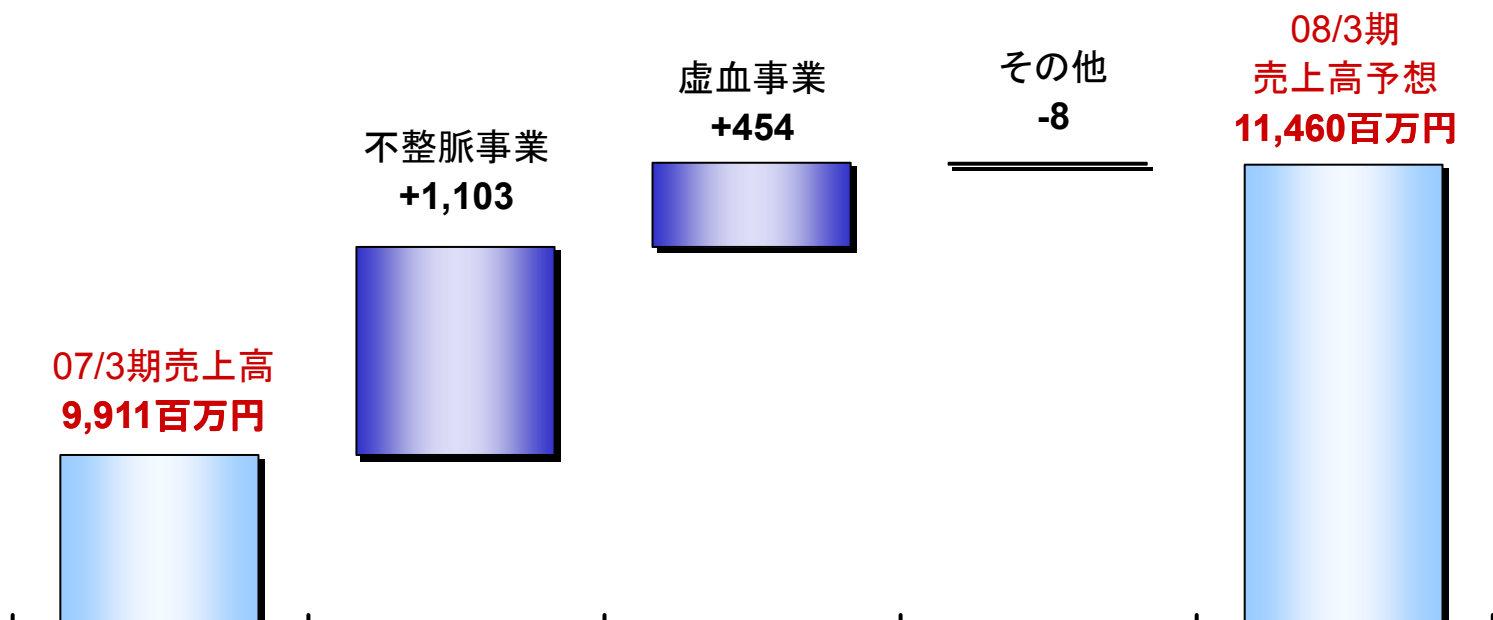
(百万円、%)

	07/3上期(実績)		08/3上期(予想)	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	4,508	+21.8	5,472	+21.4
営業利益	142	-2.6	144	+1.4
経常利益	140	-3.9	141	+1.0
当期純利益	61	-26.1	76	+24.4

08/3期 業績予想(事業区分別)

(百万円、%)

	07/3通期	08/3通期(予想)		ご参考:08/3上期(予想)	
		金額	増減率	金額	増減率
不 整 脈 事 業	8,389	9,492	+13.2	4,627	+20.1
虚 血 事 業	1,461	1,916	+31.1	821	+29.5
そ の 他	60	52	-14.2	24	+13.2
合 計	9,911	11,460	+15.6	5,472	+21.4



1株当たりの指標等

	06/3 通期	07/3通期	08/3通期(予想) 2007.5.15発表
1株当たり当期純利益(円)	327.44	360.35	342.13
1株当たりの配当金(円)	45.00	50.00	48.00
総資産(百万円)	3,767	4,781	-
純資産(百万円)	878	1,048	-
自己資本比率(%)	23.3	21.9	-
1株当たりの純資産(円)	1,633.42	1,948.42	-

(注)07/3期 1株当たりの配当金の内訳は、普通配当45円、記念配当5円です。

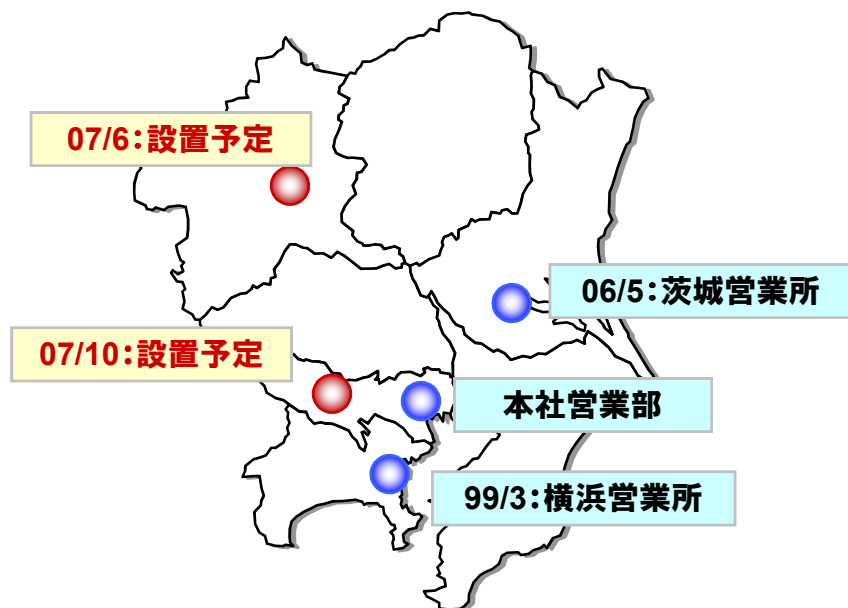
I 会社概要

II 決算(実績と予想)

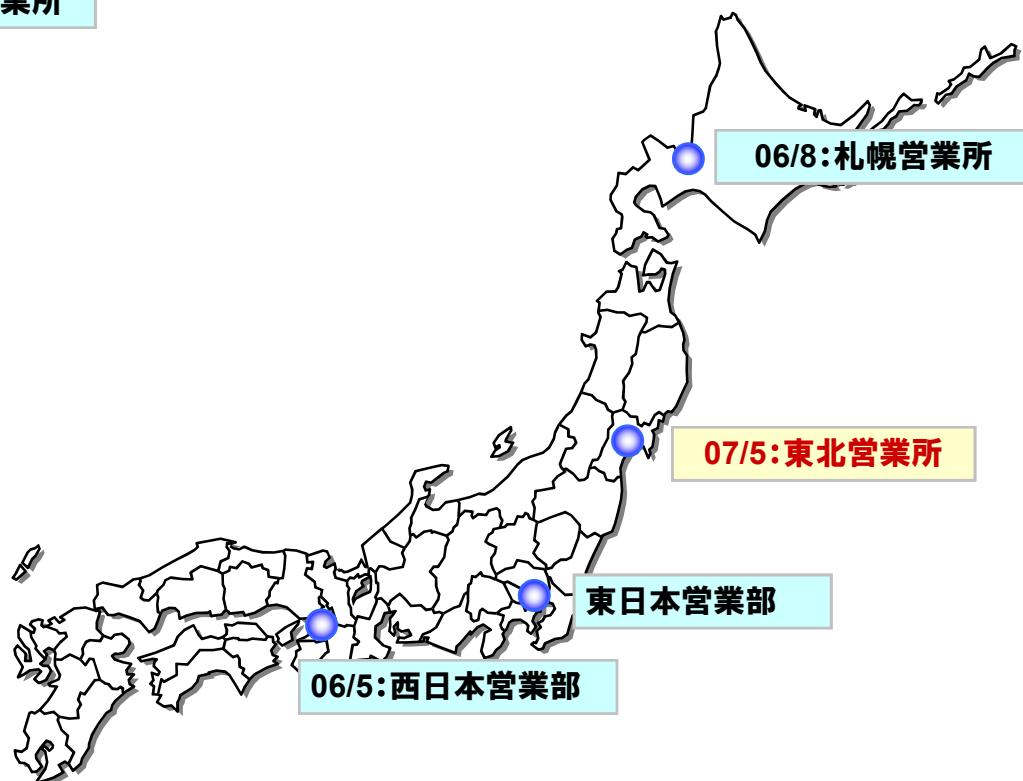
III トピックス

地域密着型営業体制の進展

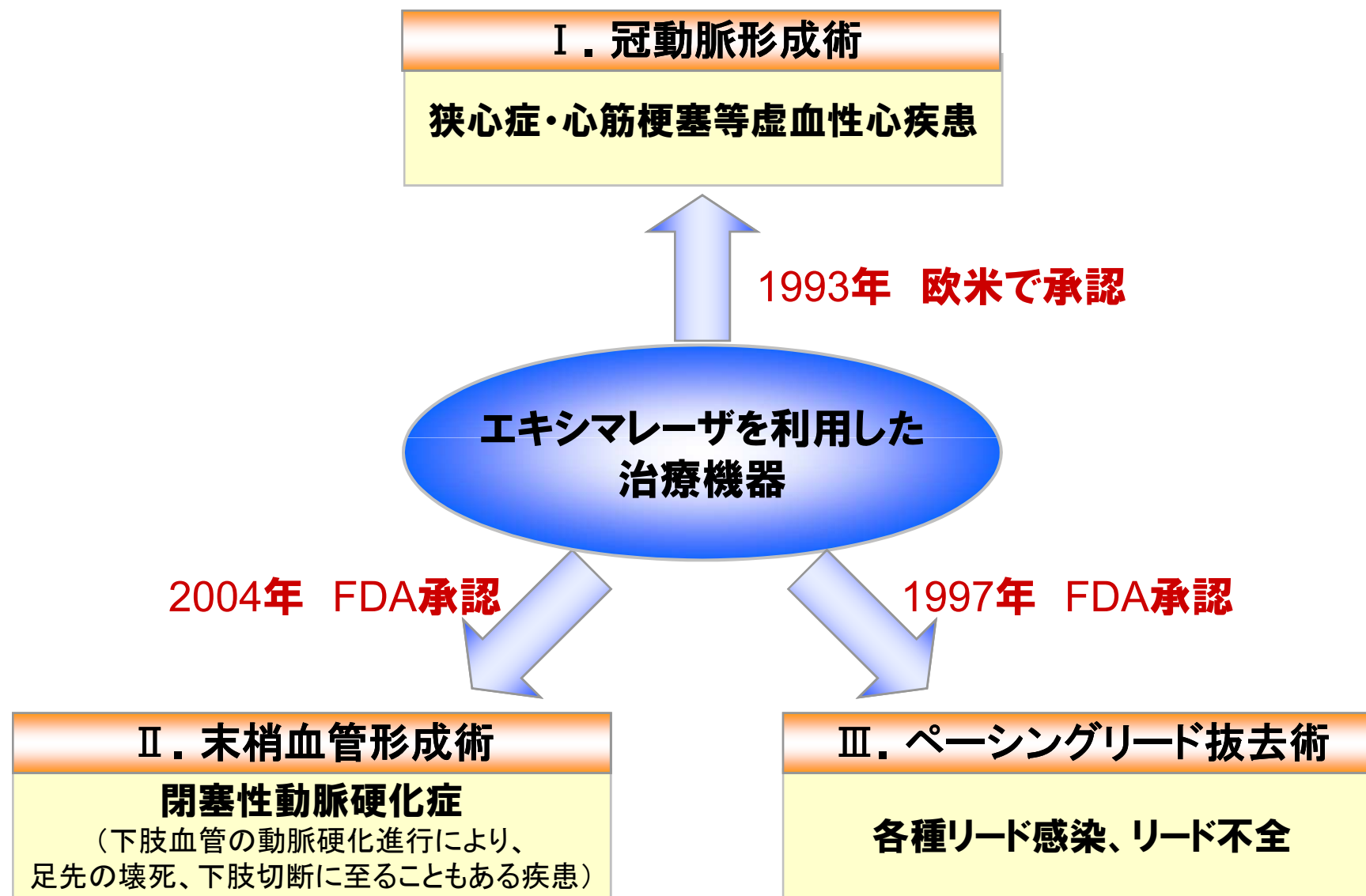
不整脈事業
営業体制の強化→重点地区の拡張



虚血事業
販売代理店との連携強化を全国規模で実現



エキシマレーザによる新治療①



エキシマレーザによる新治療②

わが国におけるエキシマレーザ導入に関する取組み

I. 冠動脈形成術

※エキシマレーザ血管形成システムによる**高度先進医療承認**を取得(2003年11月)

- 高度先端医療認可施設数・・・7施設(2007年5月末現在)
- 新治療法の開始医療施設数の増加
- 保険適用を目指して、**先進医療(旧高度先進医療)**認可施設の**拡大**に向け活動を展開中

II. 末梢血管形成術

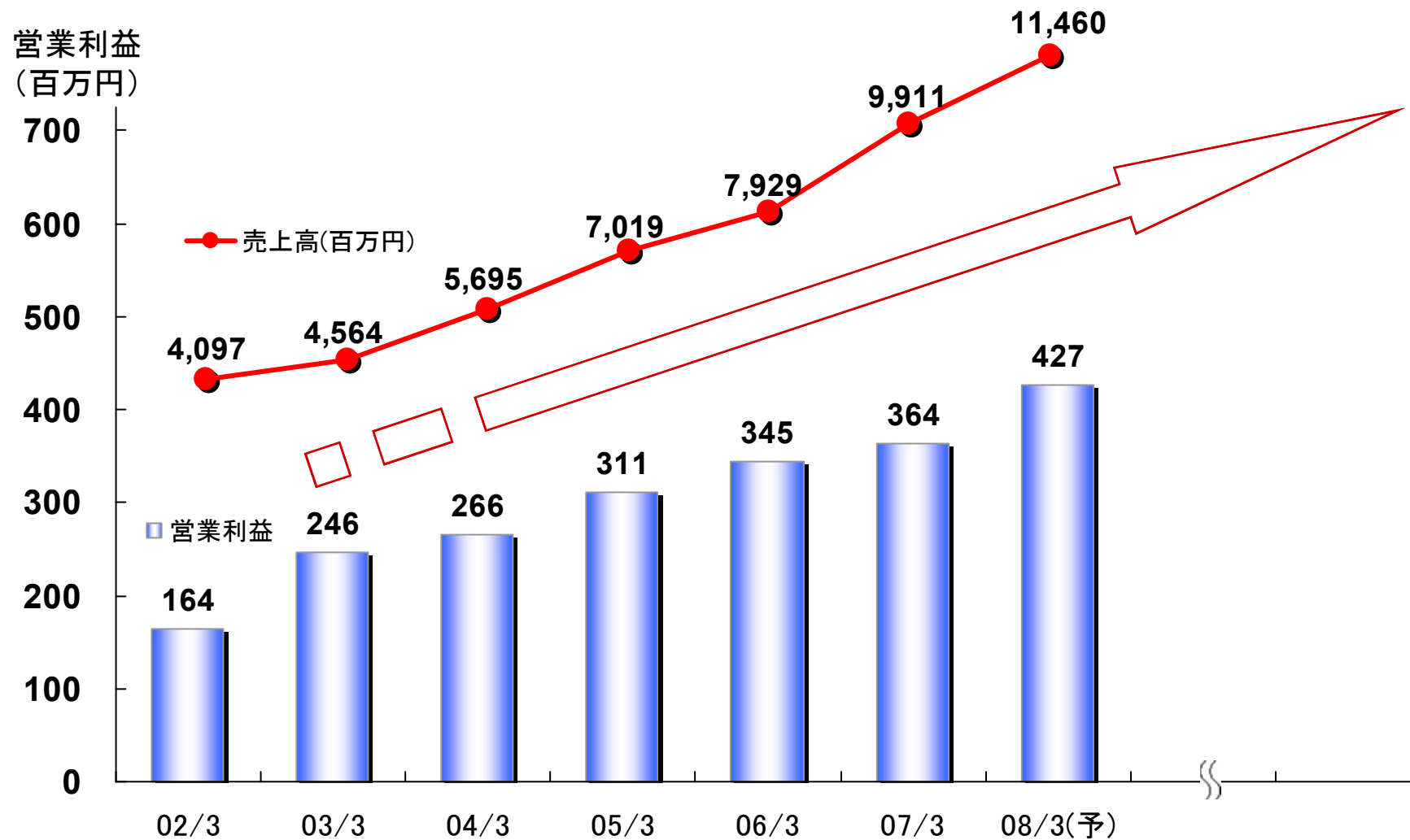
- 欧米で優秀な成績を収めた臨床試験(Cello Study)を使用して、国内早期導入を目指す。

III. ペーシングリード抜去術

- 日本不整脈学会と協働で厚生労働省に早期国内導入の要望を提出(2006年10月)
- 厚生労働省の優先審査の対象となり、現在、審査進行中(2007年3月)。

※患者の代表団体である日本心臓ペースメーカー友の会との連携もあり。

積極的な売上拡大策により利益成長を目指す



(注1) 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

(注2) 05/3期には、2004年2月1日付のディーバイエックスジャパン株式会社との合併による売上高等の増加の影響が含まれています。



**Development
Venture**

xー「未知数」「無限の可能性」

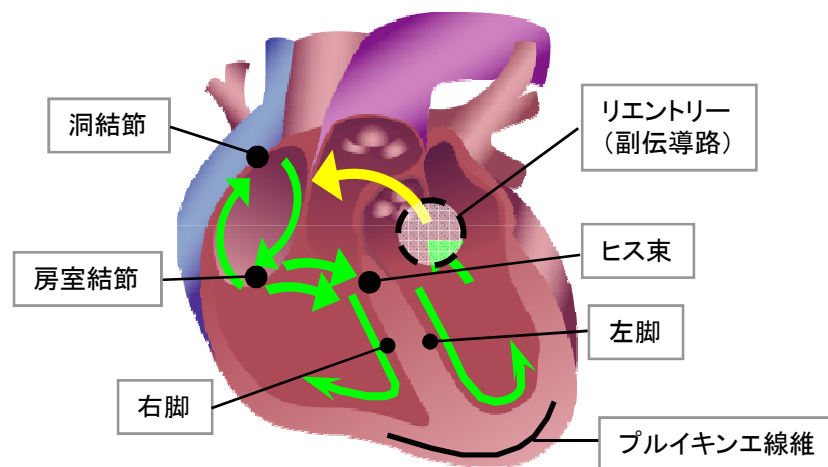
ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)

(ご参考)アブレーション(心筋焼灼術)について

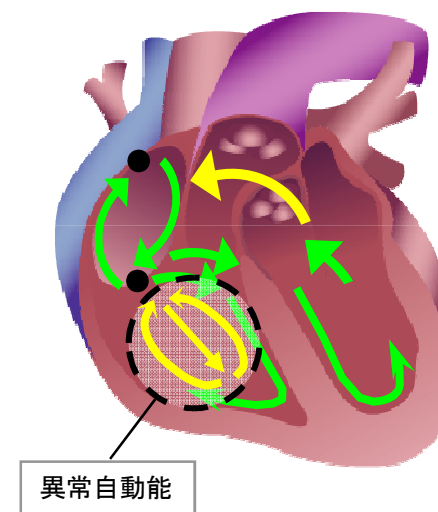
頻脈の根治療法「アブレーション(心筋焼灼術)」とは

- ・WPW症候群では確立された治療法。比較的新しく、現在も適応症例が拡大中。
- ・心臓内に留置した電極カテーテルに高周波エネルギーを通電して、心筋組織を焼灼して壊死させる。

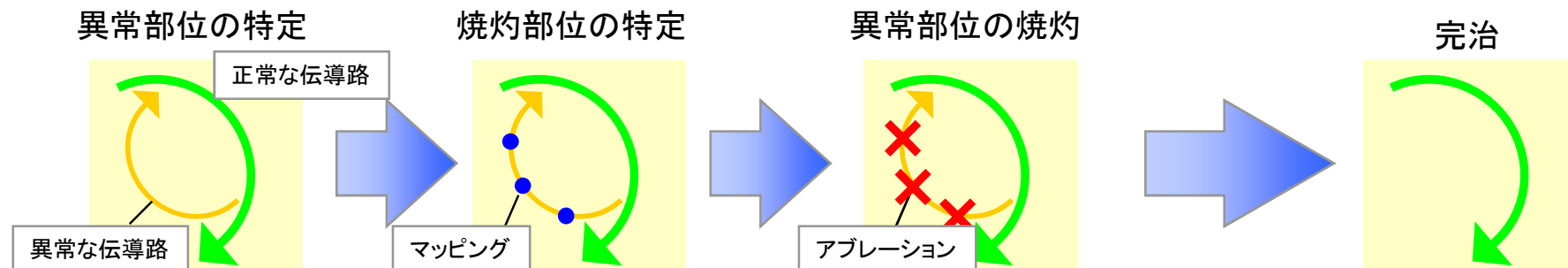
例1. リエントリーによる頻脈



例2. 異常自動能による頻脈



アブレーション治療の手順



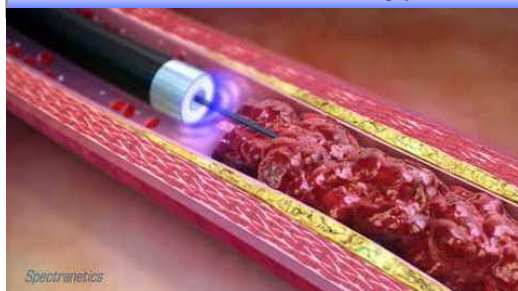
(ご参考)蒸散効果について

プラーク組織の分子結合を破壊、 10μ 以下の微小片とガスに分解

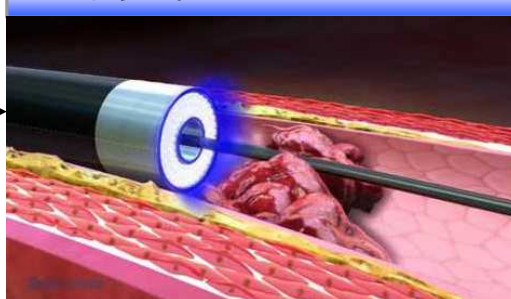
病変部へのガイドワイヤー通過



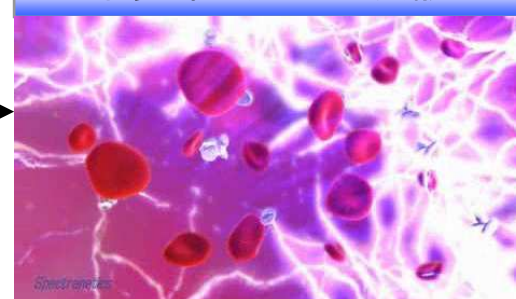
レーザーカテーテルの挿入



病変部へのレーザー照射



病変部プラークの蒸散



レーザーカテーテル(滅菌品)

本資料における注記事項

- ◆ 本資料は投資家の参考に資するため、ディービエックス株式会社(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。
- ◆ 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- ◆ 本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先

IR・広報室長 田島 恵美子 TEL:03-5985-6827 FAX:03-5985-6106

URL <http://www.dvx.jp/>